

【補充資料 2】

コミュニケーションを支える基礎的能力を培う指導 (Formative Input & Easy Output)

と 4 領域を関連させた総合的な言語活動のデザイン

年間指導計画

* 「書くこと」の領域におけるフォーマティブインプット&イージーアウトプットを取り入れた単元（題材）の年間の指導計画であり、本研究の実践計画でもある。

* 目標とする総合的な言語活動にむけてFormative Input & Easy Output (F & E) で培いたい言語材料（語彙、基本表現）や言語の働きを教科書の時系列で表した指導計画である。

* 太枠のFormative Input&Easy Outputがそのクールの総合的な言語活動と直接関連する言語材料（語彙、基本表現）を持つ単元（題材）である。

* [Easy Writing] の活動には、学習指導要領における「書くこと」の中心となる指導事項を例として提示した。

NEW HORIZON ENGLISH COURSE BOOK 2 VERSION

単元	総合的な言語活動に向けての指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする総合的な言語活動
UNIT1 SO	<p>*TVのCMという使用場面を友人にSaleの情報に伝えるという設定に変えたフォーマットを使用する</p> <p>① Be動詞の過去形“was”と“were”の意味、形態に慣れさせる</p> <p>① “last week” “yesterday”等の過去を表す副詞(句)に慣れさせる</p> <p>① 数字の音読に慣れさせる</p>	<p>【働き】説明する 描写する 【使用場面】TVのCM→友人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット1】で自己表現を行う ・ペアで相互に発表練習 <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人での暗唱発表(抽出) <p>[Easy Writing] (ア)(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマットの自己表現文を清書して提出する 	<p>総合的な言語活動 I 「日記」</p> <p>《到達目標》</p> <p>文章の流れを考えて、3文程度の日記を書くことができる</p> <p>《主な言語材料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Be動詞の過去形
UNIT1 DL	<p>*対話文を中心としたフォーマットを設定する</p> <p>① Be動詞の過去形“was”と“were”の意味、形態に慣れさせる</p> <p>②過去進行形の形態に慣れさせる</p> <p>③ “What were you doing?”の表現を暗記させる</p> <p>④Be動詞の「いる、ある」の意味に慣れさせる</p>	<p>【働き】質問する 答える/説明する 描写する 【使用場面】友人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット2】で自己表現スキット作成 ・ペアでリハーサル <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでスキットの暗唱発表(全員) <p>[Easy Writing] (ア)(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマットの自己表現スキットを清書して提出 ・Where were you?/Where were you doing?の練習をする(シート) ・I was(場所)とI was(動詞)ingの練習をする(シート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が生活を表現する際に使用しそうな一般動詞の過去形 give, study, get, see, swim, wait for, read, run, eat, listen to, enjoy, look, practice等
UNIT1 REC P6	<p>*特色のある題材を使用しているのでフォーマットは使用せず、音読を中心としたInputを行う</p> <p>①Be動詞の過去形“was”と“were”の意味、形態に慣れさせる</p> <p>②様々な一般動詞の過去形に慣れさせる</p> <p>③ “on Sunday morning”のような副詞(句)に慣れさせる</p> <p>④曜日、月の名前を綴りに慣れさせる</p>	<p>【働き】紹介する/説明する 【使用場面】ガイドブックを読む</p> <p>[音読練習]</p> <p>[リハーサル] 個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] 個人による音読発表(抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形を表す副詞の整理し、練習する(ノート&シート) ・曜日、月の名の書き取り、練習する(ノート&シート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ yesterday, yesterday morning, afternoon, evening, last evening, night等の過去を表す副詞句 ・ at+時刻等の場所を表す副詞(句) ・ 曜日、月の名前
UNIT1 REC P7	<p>*マイクの感想文の暗唱練習を行い、日記を書く際に有効な慣用表現に慣れさせる</p> <p>①enjoy(ed), practice(d), learn(ed),等の「日記」に使いそうな一般動詞を綴りから音声化できる</p> <p>[EX] enjoy~very much, look+形容詞</p> <p>②自分の気持ちや感想を述べるlook(知覚動詞)+形容詞に慣れさせる</p>	<p>【働き】説明する/感想を述べる 【使用場面】BBSに感想を書く</p> <p>[音読練習]</p> <p>[リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P7の暗唱練習を個人で行う(最初の語を提示した暗唱シートを準備) <p>[パフォーマンス] 個人による暗唱発表(抽出、可能なら全員)</p> <p>[Easy Writing] (ア)(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日記」を書くのに使用しそうな一般動詞を用いて簡単な自己表現文を書いてみる ・知覚動詞“look” “sound”等を用いて、簡単な自己表現文を書いてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ in ,at, near等の場所を表す前置詞を用いた副詞句 ・ have a good time happy,sad, interesting exciting, 等の自分の気持ちを表す表現

UNIT1 RFC Your Turn	<p>* 「書くこと」を中心とした言語活動なので、簡単な音読練習でのInputを行い、Easy Writingで書かせる</p> <p>① 「場所を表す副詞句」に慣れさせる</p> <p>② 「過去を表す副詞句」に慣れさせる</p> <p>③ 疑問詞 “how” の「どのように、どうやって」の意味を理解させ、5 W 1 Hの疑問詞の意味に慣れさせる</p> <p>④ 「日記」を書く言語活動に有用なwatch ~on video(TV)を意識させる</p>	<p>【働き】説明する 掲示する 【使用場面】 お知らせのポスターを書く</p> <p>【音読練習】</p> <p>[リハーサル] 個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] 個人での音読発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (イ) (エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の「メモに基づいて () に語を入れる活動」の類題に取り組む ・曜日、月の名の書き取り練習をする (シート, 帯活動) ・過去を表す副詞の整理し、書き取り練習をする (シート) 	総合的な言語活動 I 「日記」 《到達目標》 文章の流れを考えた、3文程度の日記を書くことができる
Listening Plus 1	<p>* 中心技能である「聞くこと」の活動を重視する</p> <p>* リスニングスクリプトを要約したフォーマットを使用し、「聞くこと」の活動から、F & Eへと進む</p> <p>① Be動詞の過去形の意味や働きに慣れさせる</p> <p>① 一般動詞の過去形の意味や働きに慣れさせる</p> <p>① “~is really great” “fan of~” “play ~very well” のような自分の気持ちや意向を表す表現に慣れさせる</p>	<p>【働き】質問する 答える 【使用場面】 インタビュー</p> <p>【音読練習】 【フォーマット3】を使用して音読練習</p> <p>[リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自己表現スキットを作成し、発表練習を行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで自己表現スキットの暗唱発表 (抽出) <p>[Easy Writing] (ア) (イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューしたい内容を考えて書いてみる <p>[EX] What food do you like?/ Where do you live?/ Do you have a girl friend?/ How old are you?/</p>	

単元	総合的な言語活動に向けての指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする総合的な言語活動
UNIT2 SO	<p>* 新出文型を使った簡単な対話文なので、自己表現フォーマットを使用する</p> <p>①対話文のフォーマットで be going to ~の形態と意味に慣れさせる</p> <p>②未来を表す副詞(句) tomorrow, next Sunday の部分を自己表現させ、未来形での使用を意識させる</p>	<p>【動き】 質問する 答える 【使用場面】 友人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット4】を用い、ペアで自己表現スキットを作成する ・ ペアでスキットの発表練習 <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで自己表現スキットの暗唱発表(全員) <p>[Easy Writing] (ア)(エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマットの自己表現文を清書して提出する(シート) ・ 次の日曜日の自分の予定を“be going to +動詞の原形”を用いて書いてみる(シート) 	<p>総合的な言語活動Ⅱ</p> <p>「わたしの夢」</p> <p>《到達目標》</p> <p>「将来なりたいもの」について、聞いて理解したり、自分についての3~4文程度の英文を書き、発表したりすることができる</p> <p>《主な言語材料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ want (would like) to +動詞の原形「~したい」、特にwant to be ~ 「~になりたい」 ・ be going to +動詞の原形「~する予定である」 ・ 未来を表す副詞(句) in the future, someday ・ 職業に関連した語、教科書P30~P31のTool Boxを基本とするが、生徒の実情に配慮して言語活動を行う。 ・ visit, stay, help, make, cook, travel, study 等、自己表現に使用しそうな一般動詞。 ・ so, because 等の理由を述べる表現に有効な接続詞 ・ I like ~, I want to ~等、なりたい理由を表す文に使いそうな表現
UNIT2 DL	<p>* 言語の使用場面が限定されているので、慣用表現の暗唱に重点をおく</p> <p>① SVOO、特にshow(〜に)(〜を)の文に慣れさせる</p> <p>② 疑問詞“How long?”とForを用いた答え方に慣れさせる</p> <p>③ 総合的な言語活動「わたしの夢」に向けてvisit, stay, enjoyの表現を意識させる</p>	<p>【動き】 依頼する 質問する、答える 【使用場面】 入国審査</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット5】で自己表現スキット作成・ペアでリハーサル <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでスキットの暗唱発表(全員) <p>[Easy Writing] (ア)(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマットの自己表現スキットを清書して提出する(シート) ・ be going to ~を用いた文の疑問文への語順変化の練習をする(シート) ・ SVOOの文の語順定着のための練習をする(シート) 	
UNIT2 RFC P14	<p>* フォーマットは使用せずに教科書の音読を重視する</p> <p>① SVOCを用いた文に慣れさせる</p> <p>② P16 Your Tumでの「話すこと」の言語活動に向けて、Read & Look up やJapanese →Englishの練習を十分行う</p>	<p>【動き】 ナレーションをする 【使用場面】 観光地で</p> <p>[音読練習] *量の多い英文を、自然なスピードで読む</p> <p>[リハーサル]・個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス]・個人による音読発表(抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ callを用いたSCOCの文の語順定着のための練習をする(シート) ・ callを用いて簡単な自己表現文を書いてみる(シート) 	
UNIT2 RFC P15	<p>* フォーマットは使用せずに教科書の音読を重視する</p> <p>① P16 Your Tumでの「話すこと」の言語活動に向けて、Read & Look up やJapanese →Englishの練習を十分行う</p>	<p>【動き】 説明する 【使用場面】 観光地で</p> <p>[音読練習]</p> <p>[リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読練習を個人で行う(最初の語を提示した暗唱シートを準備) <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人による暗唱発表(抽出) <p>[Easy Writing] (ア)(エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P16 Your Tum 「ナレーション」の原稿を書いてみる(ノートorシート) 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">UNIT2 RFC Your Turn</p>	<p>* 主として「話すこと」の言語活動「名所を紹介する」に向けて、ナレーションの原稿を書かせるためのInputを行う</p>	<p>【働き】 プレゼンをする 【使用場面】 クラスメートへの説明</p> <p>[音読練習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P16の「ナレーション」の原稿の音読練習を行う <p>[リハーサル] 個人で原稿の暗唱練習</p> <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードを用い、個人で暗唱発表する（抽出） <p>[Easy Writing] (ア) (エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P16のモデル文を参考にして、身近な名所についてのナレーション原稿を書いてみる ・ “We call it moai.” モデルにした簡単な自己表現文を書いてみる 	<p>総合的な言語活動Ⅱ 「わたしの夢」 《到達目標》 「将来なりたいもの」について、聞いて理解したり、自分についての3～4文程度の英文を書き発表したりすることができる</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">Listening Plus 2</p>	<p>* 中心技能である「聞くこと」の言語活動を重視する。 * リスニングスクリプトを利用したフォーマットを使用し、「聞くこと」の活動からF&Eへと進む</p>	<p>【働き】 案内する 【使用場面】 搭乗案内 機内放送</p> <p>[音読練習] 【フォーマット6】 を使用して音読練習</p> <p>[リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでスキットを暗唱し発表練習を行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでスキットの暗唱発表（抽出）可能なら全員に <p>[Easy Writing] (ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慣用表現 “ Excuse me. / I think so. / I'm sorry. / That's OK. ” 等の慣用表現を書く練習をする 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">Speaking Plus 1</p>	<p>* 中心技能である「話すこと」の活動を重視する。自己表現をがしやすいように使用場面を友人との会話に変更したフォーマットを使用する</p>	<p>【働き】 ていねいに許可を求める、依頼する 【使用場面】 職員室で→目上の人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【フォーマット7】 を用いて自己表現スキットを完成させる ・ ペアでスキット発表のリハーサルを行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでスキットを発表する（全員） <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマット7のスキットを清書して提出する ・ Step1の表現練習の英文に理由となる文を書き加え、2文で書いてみる <p>(EX) I lost my pencil. Can I use your pencil? I am so tired. May I sit here? It's a little cold. May I close the door ? I can't hear it. Could you say that again?</p>	

単元	総合的な言語活動に向けての指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする総合的な言語活動
UNIT 3 SO	<p>* 初出の基本表現を用いた簡単な対文なので、自己表現フォーマットを使用して、F&Eを行う</p> <p>①不定詞の副詞的用法の形態と意味に慣れさせる</p> <p>②総合的な言語活動Ⅱに向けて、不定詞の副詞的用法を用いた表現を練習する</p>	<p>【動き】質問する 答える 目的・理由を表す 【使用場面】グラフを見て→友人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット8】を用い、ペアで自己表現スキットを作成する ・ ペアでスキットの発表練習 <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで自己表現スキットの暗唱発表 (全員) <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマットの自己表現文を清書する ・ 総合的な言語活動Ⅱ「わたしの夢」に応用できそうな語彙を使用した整序作文に取り組む <p>(例) I'm going to America <u>to learn English.</u> A doctor came to Hanamaki <u>to help sick people.</u> ALT's Name comes here <u>to teach English.</u></p>	<p>総合的な言語活動Ⅱ 「わたしの夢」</p> <p>《到達目標》 「将来なりたいもの」について、聞いて理解したり、自分についての3~4文程度の英文を書き発表したりすることができる</p> <p>《主な言語材料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ want (would like) to+動詞の原形「~したい」、特にwant to be~「~になりたい」
UNIT 3 DL	<p>* 対話文であるが、“E-pals” “surf”等、実際に使用場面での使用頻度が高いと予想されるインターネット関係の言語材料はフォーマットに用いる</p> <p>①総合的な言語活動Ⅱに向けて、want toの用法に慣れさせる</p> <p>②総合的な言語活動Ⅱに向けて、want to+動詞の原形を用いた自己表現を練習する</p>	<p>【動き】質問する 答える 【使用場面】家で→友人との会話 (WEBを見ながら)</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット9】で自己表現スキット作成 ・ペアでリハーサル <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでスキットの暗唱発表 (全員) <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ want to~ を用いた簡単な自己表現文を書いてみる ・ 総合的な言語活動Ⅱ「わたしの夢」に向けて “want to be~” を用いて「~になりたい」と自己表現文を書いてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ be going to+動詞の原形「~する予定である」 ・ 未来を表す副詞(句) in the future, someday
UNIT 3 RFC P24	<p>*フォーマットは使用せず、音読を重視</p> <p>①P16 Your Tumにおける「書くこと」の言語活動に向けて、Read & Look up、Japanese →Englishの音読練習を十分行う</p> <p>②「~は人気がある」という表現の総合的な言語活動Ⅱでの使用を意識させる</p> <p>③ “Are they popular ?” “Do you know ~?” のような質問する表現に慣れさせる</p>	<p>【動き】紹介する 質問する 【使用場面】WEBページを見て</p> <p>[音読練習]</p> <ul style="list-style-type: none"> *量の多い英文を、自然なスピードで読む <p>[リハーサル] 個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] 個人による音読発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P26の Your Tumの活動を意識して、教科書本文を視写してみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業に関連した語、教科書P30~P31のTool Boxを基本とするが、生徒の実情に配慮して言語活動を行う。 ・ visit, stay, help, make,cook,travel, study 等、自己表現に使用しそうな一般動詞。 ・ so,because 等の理由を述べる表現に有効な接続詞

UNIT3 RFCP25	<p>* フォーマットは使用せずに音読を重視「～は人気がある」という表現の総合的な言語活動Ⅱでの使用を意識させる</p> <p>① 「～は人気がある」という表現の総合的な言語活動Ⅱでの使用を意識させる</p>	<p>【動き】 紹介する 説明する 【使用場面】 WEBページを見て</p> <p>[音読練習] *量の多い英文を自然なスピードで読む</p> <p>[リハーサル] 個人の音読練習</p> <p>[パフォーマンス] 個人による音読発表（抽出）</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P26 YourTumの活動を行う 	総合的な言語活動Ⅱ 「わたしの夢」 《到達目標》 「将来なりたいもの」について、聞いて理解したり、自分についての3～4文程度の英文を書き発表したりすることができる
Writing Plus 2	<p>* 主として「書くこと」の言語活動であり、教科書本文自体がフォーマットである</p> <p>① 英文でメールを出す場合の慣用的な表現に慣れさせる</p> <p>② 自分の身近にあった出来事について簡単に自己表現させる</p> <p>[注] 総合的な言語活動Ⅰ「日記」の復習となる書く活動に位置付ける</p>	<p>【動き】 紹介する 説明する 【使用場面】 メールを書く</p> <p>[音読練習] P28のモデル文を使用</p> <p>[リハーサル] モデル文を用い、個人の音読練習</p> <p>[パフォーマンス] モデル文を個人で音読発表する（抽出）</p> <p>[Easy Writing]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近経験したちょっとしたことについて、友人に送るメールを書いてみる 	

冊数	総合的な言語活動に向けての 指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする 総合的な言語活動
Let's Read 1 P32	* 中心技能である「読むこと」を中心とした言語活動を重視する * F & E としては音読練習を十分に行い、パフォーマンスとして暗唱発表を行う ① 総合的な言語活動Ⅲに向けて、語彙の拡大を図る ② 総合的な言語活動Ⅲに向けて過去形、want to ~ 等の既習表現を定着させることをねらう	[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅲを意識した定着シートで練習する 【語彙】 work, call, water, thirsty, drink (drank), hungry, eat (ate) 【表現】 Could you give me ~?	総合的な言語活動Ⅲ 「わたしの夏休み」 《到達目標》 「夏休みの思い出」について、スピーチを聞いて理解したり、自分についての4~5文程度の英文を書き発表したりすることができる 《主な言語材料》 * 総合的な言語活動Ⅰ、Ⅱでの言語材料に、新たな語彙や表現を加える(左欄の語彙、表現を参照)
Let's Read 1 P33		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅲを意識した定着シートで練習する 【語彙】 finish, anything, say (said), make (made), go (went), choose (chose), carefully, wish 【表現】 look + 形容詞 / SVOO の文 / want to ~ / say goodbye to ~	
Let's Read 1 P34		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅲを意識した定着シートで練習する 【語彙】 tired, wonderful, get home (get to ~), another 【表現】 want to ~ / be going to ~	
Let's Read 1 P35		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅲを意識した定着シートで練習する 【語彙】 take (took), get, a lot of ~, food, money, buy (bought), think (thought), idea 【表現】 take (人) to (場所)	
Review	* 可能であれば、暗唱発表大会を開催 * 音読テストでも可 * 総合的な言語活動Ⅱの復習として、Optionの活動に取り組みさせる	[Easy Writing] (ア) (ウ) ・ Optionの活動に取り組む 「あなたが“Magic Box”でかなえない望みを2文以上の英語で書いて見よう」 例) My wish is to fly like a bird. I want to see the world from the sky.	
Let's Chat 1	* 中心技能である「話すこと」に重点をおいて言語活動を行う ① 総合的な言語活動Ⅲにむけて “watched ~ on TV” 等の「過去に~した」という動詞表現を復習させる ② 総合的な言語活動Ⅲにむけて exciting, boring, interesting, great, terrible, 等の自分の感想を表す表現について、復習させる。	【働き】 質問する 答える 【使用場面】 友人との会話 [音読練習] [自己表現&リハーサル] ・ 【フォーマット10】を用い、ペアで自己表現スキットを作成する ・ ペアでスキットの発表練習を行う [パフォーマンス] ・ ペアでスキットの暗唱発表 (全員) [Easy Writing] (ア) (イ) ・ クラスメートの発表を聞いて、どの番組を見たのか、どんな感想を持ったのかを聞き取り、英文にまとめて見よう EX) Hiroshi watched News Station last night. It was interesting for him. Junko watched “Attention Please” last night She likes Aya Ueto very much.	

単元	総合的な言語活動に向けての指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing]における(ア)～(エ)は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする総合的な言語活動
UNIT4 SO	<p>*ガイドブックを読むという場面なので自己表現フォーマットは使用せず、音読と暗唱練習を中心に行う</p> <p>② have to～, don't have to～の用法に慣れさせる</p>	<p>【動き】 忠告する 助言する 【使用場面】 ガイドブックを読む</p> <p>[音読練習]</p> <p>[リハーサル]</p> <p>・ 個人での暗唱練習</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ 個人での暗唱発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ have to～, don't have to ～の文型を練習する (シート)</p> <p>・ have to～, don't have to ～を用いた簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p>	<p>総合的な言語活動Ⅳ</p> <p>「わたしの町」</p> <p>《到達目標》</p> <p>町の様子を描写したり、紹介したりする英文を理解し、自分の町の紹介文を4～5文程度で書き、比べあうことができる</p>
UNIT4 DL	<p>*ホームステイ先でのホストとの対話である。make my bed のところを自己表現に変え、日常生活を表す一般動詞を復習させる。そのままでもよい</p> <p>① willの意味・用法に慣れさせる</p> <p>EX) "I'll show you"</p> <p>②show you her pictureのようなSVOOの文型を定着させる</p>	<p>【動き】 申し出る 【使用場面】 ホームステイ</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・ 【フォーマット11】で自己表現スキット作成 ・ペアでリハーサル</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアでスキットの暗唱発表 (全員)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ フォーマットの自己表現スキットを清書して提出する</p> <p>・ 助動詞“will”を用いた文型を練習する (シート)</p>	<p>《主な動き》</p> <p>描写する、紹介する</p> <p>説明する</p> <p>《主な言語材料》</p> <p>・ There is ～ /There are～の表現</p> <p>・ in,at,near,by, under, around等の場所を表す前置詞を用いた副詞句</p>
UNIT4 REC P42	<p>* 使用場面が「ノート」を「読むこと」なので、生徒が先生に相談し、助言を受けている設定にしてロールプレイを行う。フォーマットは教科書本文に挨拶を付け加える程度でよい</p> <p>① 対話の中で“must”の意味・用法に慣れさせる</p> <p>② ていねいな許可・依頼する表現を復習させる</p>	<p>【動き】 相談する 助言する 【使用場面】 ノート→先生と生徒の会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・ 【フォーマット12】で自己表現スキットを作成 ・ペアでリハーサル</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアでスキットの発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ mustを用いた文型を練習する (シート)</p> <p>・ mustを用いて簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p>	<p>・ famous, beautiful wonderful, popular 等の建物や町の様子を表す形容詞</p>
UNIT4 REC P43	<p>*P42と同じ。対話文として暗唱させることで、must, must notの働きをつかませる</p> <p>① 対話の中で、“must not”の意味・用法に慣れさせる</p> <p>② 総合的な言語活動Ⅳに向けて場所を表す単語“interesting places” “around”等を意識させる</p> <p>③ ②と同様にtake A to B, anywhereを意識させる</p>	<p>【動き】 苦情を言う 忠告する 【使用場面】 ノート→先生と生徒の会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・ 【フォーマット13】で自己表現スキットを作成 ・ペアでリハーサル</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアでスキットの発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing]</p> <p>・ P44Your Turn のメモを書いてみる (ノート or シート)</p> <p>・ must notを用いた文型を練習し簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p> <p>・ ②③ の表現を使った英作文を書いてみる (シート)</p> <p>EX) I want to show you many places in my town. I want to take you to Hayachine-san.</p>	<p>・ 建物を名前を表す名詞</p> <p>library, hospital, station, CD shop, bookstore, post office, department store, traffic light, city hall, park, school, convenience store</p>
LP4	<p>* 中心技能である「聞くこと」の言語活動に重点をおくが、リスニングスクリプトをシートにしておき、音読練習に使用する。</p>	<p>【動き】 発表する 質問する 答える 【使用場面】 スピーチ</p> <p>[音読練習] 【フォーマット14】の音読練習</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・ 【フォーマット14】での自己表現スキットの作成と発表練習</p> <p>[パフォーマンス] (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (イ)</p> <p>・ P45のOptionのライティングに取り組む</p> <p>ホームステイをしてきた慎にたずねたいことを考えて、書く</p> <p>【EX】 What is Tina's favorite book?/ What food does Tina like?</p>	

総合的な言語活動Ⅳ 「わたしの町」 * 太枠のFormative Input & Easy Outputが総合的な言語活動と直接関連する

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">お話しと練習2</p>	<p>* 助動詞を使った文の意味と語順を定着させる練習をEasy Writingとして行う</p> <p>* can , will, must ,be going to~, have to~等を用いた表現を、総合的な言語活動（I～Vを意識した自己表現文として書かせる</p>	<p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞を使った文型の練習をする (ワークシート) ・ それぞれの言語の働きを生かした、3文程度の自己表現文を書いてみる (ワークシート) 	
<p>SP2</p>	<p>* 中心技能である「話すこと」の言語活動に重点をおく</p> <p>①電話で使用する基本表現に慣れさせる</p> <p>②総合的な言語活動Ⅳに向けて、“Why don't you ~”の表現を意識させる</p>	<p>【働き】 依頼する 【使用場面】 電話で (取り次ぎ)</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【フォーマット15】を用いて自己表現スキットを完成させる ・ ペアでスキット発表のリハーサルを行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでスキットを発表する (全員) <p>[Easy Writing]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマット15のスキットを清書して提出 ・ 総合的な言語活動Ⅳに向けて、“Why don't you ~”を用いた簡単な自己表現作文を書いて見る <p>EX) Why don't you come to my house ?/ Why don't you come to Hanamaki ?等</p>	

総合的な言語活動Ⅳ 「わたしの町」 * 太枠の Formative Input & Easy Output が総合的な言語活動と直接関連する

単元	総合的な言語活動に向けての 指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing]における(ア)～(エ)は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする 総合的な言語活動
UNITS SO	* ファックスの英文を読むという使用場面なので、フォーマットは使用せずに教科書の音読活動に取り組みさせる ①if節を用いた英文に慣れさせる ②if you have time, if you can goのように、よく使われる表現をまとめた意味の流れの中で使用させる ③総合的な言語活動Ⅳに向けてhospital, park, parking area等を意識化させる	【動き】知らせる 依頼する 【使用場面】ファックス [音読練習] [リハーサル] ・ 個人での音読練習 [パフォーマンス] ・ 個人での音読発表 (抽出) [Easy Writing] (ア) (ウ) ・ if 節を用いた文の文型練習 (シート) ・ if節を用いた簡単な自己表現を書いてみる	総合的な言語活動Ⅳ 「わたしの町」 《到達目標》 町の様子を描写したり、紹介したりする英文を理解し、自分の町の紹介文を4～5文程度で書き、比べあうことができる
UNITS DL	* テーマが「事故やケガ」なので、自己表現は避け、暗唱によるパフォーマンスを行う ①言語活動に有用な表現であるthink ,know, hope+that 節の表現に慣れさせる ②near, another ,there等、総合的な言語活動Ⅳで使用しそうな語句や表現を意識させる	【動き】意見を言う 【使用場面】友人との会話 [音読練習] [リハーサル] ・ ペアで暗唱発表のリハーサル [パフォーマンス] ・ ペアで暗唱発表 (全員) [Easy Writing] (ア) (ウ) ・ P51Your Tumの口頭対話練習後に、その文を書いてみる ・ I think (hope) that～を使用して簡単な自己表現文を書いてみる	《主な動き》 描写する、紹介する 説明する 《主な言語材料》 ・ There is ～ /There are～の表現 ・ in,at,near,by, under, around等の場所を表す前置詞を用いた副詞句
UNITS RFC P52	* フォーマットは使用せずにP54Your Tumのライティングに向け、教科書の音読を徹底させる。 ③ when節を用いた例文に慣れさせる ④「反対する」働きを持つagainstに慣れさせる ⑤ SWIHの疑問詞の意味を定着させ、SWIHに注意して、まとめた英文を書かせる	【動き】報道する 【使用場面】新聞記事 [音読練習] [リハーサル] ・ 個人での音読練習 [パフォーマンス] ・ 個人での音読発表 (抽出) [Easy Writing] (ア) (ウ) ・ P54Your Tumのライティングに取り組む (ノートor シート)	等建物を表す前置詞を用いた副詞句 ・ famous,beautiful wonderful, popular 等の建物や町の様子を表す形容詞
UNITS RFC P53	* 使用場面が「読むこと」「書くこと」中心の言語活動。フォーマットは使用せずに教科書の音読を徹底させる ①理由を述べる働きをもつbecause 節にまとめた文の中で慣れさせる	【動き】意見を言う 【使用場面】新聞の投書 [音読練習] [リハーサル] ・ 個人での音読練習 [パフォーマンス] ・ 個人での音読発表 (抽出) [Easy Writing] (ア) (ウ) ・ 接続詞If,when,becauseを用いた副詞句を用い、簡単な自己表現文を書いてみる	・ 建物を名前を表す名詞 library, hospital,station, CD shop,bookstore, post office, department store, traffic light,city hall , park,school, convenience store
Listening Plus 5	* 中心技能である「聞くこと」の言語活動に重点をおくが、リスニングスクリプトをシートにしておき、音読練習に使用する	【動き】報道する 【使用場面】TVニュース [音読練習] スクリプトの音読練習 [リハーサル] スクリプトの個人での音読練習 [パフォーマンス] スクリプトの個人での音読発表 (抽出) [Easy Writing] (ア) (ウ) ・ P55のOptionの「話すこと」の言語活動の原稿を書いてみる	

Speaking Plus 3	<p>*中心技能である「話すこと」の言語活動に重点をおく</p> <p>①病院で使用する基本表現に慣れさせる</p>	<p>【動き】 質問する 答える 説明する 【使用場面】 病院で</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット16】を用いて自己表現スキットを完成させる ・ペアでスキット発表のリハーサルを行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでスキットを発表する（全員） <p>[Easy Writing] (ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマット16のスキットを清書して提出 ・病院で使用する基本表現の練習をする（シート） 	<p>総合的な言語活動Ⅳ</p> <p>「わたしの町」</p> <p>《到達目標》</p> <p>町の様子を描写したり、紹介したりする英文を理解し、自分の町の紹介文を4～5文程度で書き、比べあうことができる</p>
-----------------	--	---	---

単元	総合的な言語活動に向けての 指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing]における(ア)～(エ)は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする 総合的な言語活動
UNIT6 SO	<p>*総合的な言語活動Ⅳにおいて最も使用するであろうThere is/are～の初出であるので、文型練習に時間をかける。フォーマットは、「友人に何かをプレゼントする」という設定にし、生徒の表現への意欲を高める</p> <p>①There is/are～の用法に慣れさせる</p> <p>②by, under等の場所を表す前置詞を含む副詞句に慣れさせる</p>	<p>【動き】 描写する ほめる 【使用場面】 プレゼントする</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・【フォーマット17】で自己表現スキット作成・ペアでリハーサル</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアでスキットの暗唱発表</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ There is/are～ の文型を練習する (シート)</p> <p>・ There is/are～を用いて、部屋の様子を描写する簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p>	<p>総合的な言語活動Ⅳ</p> <p>「わたしの町」</p> <p>《到達目標》</p> <p>町の様子を描写したり、紹介したりする英文を理解し、自分の町の紹介文を4～5文程度で書き、比べあうことができる</p> <p>《主な働き》</p> <p>描写する、紹介する</p> <p>説明する</p> <p>《主な言語材料》</p> <p>・ There is ~ /There are～の表現</p> <p>・ in,at,near,by, under, around等の場所を表す前置詞を用いた副詞句</p> <p>・ famous,beautiful wonderful, popular 等の建物や町の様子を表す形容詞</p> <p>・ 建物や名前を表す名詞</p> <p>library, hospital,station, CD shop,bookstore, post office, department store, traffic light,city hall , park,school, convenience store</p> <p>・ How pretty!やHow wonderful!等の感嘆文</p>
UNIT6 DL	<p>*次のRFCへの発展を考えて、フォーマットは使用せず、教科書本文の暗唱活動を行う</p> <p>①Is there~/ Are there～?のような疑問文とその答え方に慣れさせる</p> <p>②by, under等の場所を表す前置詞を含む副詞句に慣れさせる</p> <p>③巻末 Tool Boxを使用し、語彙の拡大を図る</p>	<p>【動き】 質問する 答える 説明する【使用場面】 友人との会話</p> <p>[音読練習]</p> <p>[リハーサル]</p> <p>・ ペアで暗唱発表のリハーサル</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアで暗唱発表 (全員)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ P59のYour Turnで口頭練習した英文を書いてみる</p> <p>・ There is～,are～の文型練習を行う (P123 ToolBoxで語彙を拡大)</p>	
UNIT6 RFC P60	<p>*読み物教材なので、フォーマットは使用せずに音読を重視する。P62Your Turn のロールプレイをフォーマットとして使用する</p> <p>①動名詞を目的語とする動詞 “stop” “finish” “enjoy” に慣れさせる</p>	<p>【読み物教材】</p> <p>[音読練習] *量の多い英文を自然なスピードで読む</p> <p>[リハーサル] ・個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] ・個人での音読発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ “stop” “finish” “enjoy” を用いた文型を練習する (シート)</p> <p>・ “stop” “finish” “enjoy” を用いた簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p>	
UNIT6 RFC P59	<p>*読み物教材なので、フォーマットは使用せずに音読を重視する。P62Your Turn のロールプレイをフォーマットとして使用する</p> <p>①動名詞主語の文に慣れさせる</p>	<p>【読み物教材】</p> <p>[音読練習] *量の多い英文を自然なスピードで読む</p> <p>[リハーサル] ・個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] ・個人での音読発表 (抽出)</p> <p>【RFC Your Turn】</p> <p>[リハーサル] ・ペアでロールプレイの暗唱練習</p> <p>[パフォーマンス] ペアでロールプレイの暗唱発表 (可能ならば全員)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ 動名詞主語を用いた文型を練習する (シート)</p> <p>・ 動名詞主語を用いた簡単な自己表現を書いてみる (シート)</p>	
Listening Plus 6	<p>*中心技能である「聞くこと」の言語活動に重点をおくが、リスニングスクリプトをシートにしておき、Formative Input& Easy Outputに使用する</p>	<p>【動き】 案内する 感想を述べる 【使用場面】 校内放送</p> <p>[音読練習] スクリプトの音読練習</p> <p>[リハーサル] スクリプトの個人での音読練習</p> <p>[パフォーマンス] スクリプトの個人での音読発表 (抽出)</p> <p>[Easy Writing] (イ)</p>	
Speaking Plus 4	<p>*中心技能である「話すこと」の言語活動に重点をおく。場所を表す表現等、総合的な言語活動Ⅳとの関連性が高いので、全員に発表させる</p> <p>① “Could you tell me the way to～?” のような道案内に関わる慣用表現に慣れさせる</p> <p>②総合的な言語活動Ⅳに向けて、場所を表す語句の語彙を拡大させる</p>	<p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <p>・ 教科書のOptionを利用し、自己表現スキットを完成させる</p> <p>・ ペアでスキット発表のリハーサルを行う</p> <p>[パフォーマンス]</p> <p>・ ペアでスキットを発表する (全員)</p> <p>[Easy Writing] (ア) (ウ)</p> <p>・ 道案内で使用する基本表現を練習する (シート)</p> <p>・ 大迫町内の地図を利用して簡単な自己表現文を書いてみる (シート)</p>	

冊数	総合的な言語活動に向けての指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする総合的な言語活動
Let's Read 2 P68	* 中心技能である「読むこと」を中心とした言語活動を重視する * F & E としては音読練習を十分に行い、パフォーマンスとして暗唱発表を行う ② 総合的な言語活動Ⅴに向けて、語彙の拡大を図る ③ 総合的な言語活動Ⅴに向けて、既習表現を定着させることをねらう	[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅴを意識した定着シートで練習する 【語彙】 try ,take care of~, sun, baby 【表現】 The boy could not see it, <u>because he was blind.</u>	総合的な言語活動Ⅴ 「わたしの好きなこと・もの」 《到達目標》 自分の好きなこと(趣味)・ものについて5文程度のスピーチ原稿を書いて発表できる 《主な働き》 紹介する 説明する 理由を述べる 発表する 《主な言語材料》 ・ be going to~, want to~のようなテーマを述べるための表現 ・ favorite, like, love等、自分の好きなものを述べるための表現 ・ so,because 等、理由を述べる場合に使用しそうな接続詞 ・ I like~the best. the most interesting, moving,exciting, 等の自分の気持ちを表現することができる最上級(比較級も含む)の表現
Let's Read2 P69		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅴを意識した定着シートで練習する 【語彙】 hear(heard) think(thought), find (found), meet(met), life, listen to~ 【表現】 like~very much, be interested in~, want to~,	
Let's Read2 P70		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅴを意識した定着シートで練習する 【語彙】 child, sing(sang), wife, parent(s), 【表現】 as / a member of~/ learn singing(動名詞)/ want to become~/ decide to~	
Let's Read 2 P71		[音読練習] 「リハーサル」個人での暗唱練習 [パフォーマンス] 個人での暗唱発表 (抽出) [Easy Writing] (ウ) (エ) 総合的な言語活動Ⅴを意識した定着シートで練習する 【語彙】 take(took),get, a lot of~,food, money, buy(bought), think(thought), idea 【表現】 be proud of ~/ If you hear his song, you can feel ~/ the only one in the world with ~like that	
Review	* 可能であれば、暗唱発表大会を開催 * 音読テストでも可 * P72のReviewで本文の要約することに慣れさせる	[Easy Writing] ・P72のA, Bのライティングに取り組む	
Let's Chat2	* 中心技能である「話すこと」に重点をおいて言語活動を行う ① 総合的な言語活動Ⅴにむけて、相手の英語に対して、適切なコメントができるようにさせる EX) Lucky you. / That's nice / That sounds like fun (interesting, good)/ That's too bad./ That's a shame. ② 総合的な言語活動Ⅴにむけてexciting, boring, interesting, great, terrible, 等の自分の感想を表す表現について、復習させる	【働き】 コメントをする【使用場面】 友人との会話 [音読練習] [自己表現&リハーサル] ・ 【フォーマット18】を用い、ペアで自己表現スキットを作成する ・ ペアでスキットの発表練習を行う [パフォーマンス] ・ ペアでスキットの暗唱発表 (全員) [Easy Writing] (ア) (イ) ・ クラスメートの発表を聞いて、週末の予定を聞き取り、英文にまとめて見よう EX) Hiroshi is going to Morioka this weekend. It sounds like fun. Sachiko doesn't have any plans. That's too bad. Taro is going to study for English Test this weekend. That sounds great.	
Writing plus3	* 「書くこと」を中心とした言語活動であるが、体験的なねらいが強いのでFormative Input & Easy Outputの対象にはしない ① カードを書く際の慣用表現に慣れさせる	【働き】 あいさつをする【使用場面】 グリーティングカードを書く ・ 教科書のモデル文を参考に自分のテーマでグリーティングカードを書いてみる	

単元	総合的な言語活動に向けての 指導の要点(*)とねらい	Formative Input & Easy Output [Easy Writing] における (ア) ~ (エ) は「書くこと」の指導事項との関連	目標とする 総合的な言語活動
UNIT7 SO	*映画のキャラクターについてのトピックであるが、総合的な言語活動Vで使用を意識させるためにmusic, food, TV program, sport, comic,season等のトピックに発展可能なフォーマットを設定する ①比較表現(er,est)を用い、自分の考えを述べる表現に慣れさせる	【動き】 質問する 答える 自分の考えを述べる 【使用場面】 友人との会話 【音読練習】 【自己表現&リハーサル】 ・ 【フォーマット19】 で自己表現スキットを作成・ペアでリハーサル 【パフォーマンス】 ・ ペアで自己表現スキットの暗唱発表 (全員) 【Easy Writing】 (ア) (ウ) ・ 比較表現(～er,～est)の文型練習 (シート) ・ 様々なトピックを用いた比較表現を用いて簡単な自己表現文を書く (シート)	総合的な言語活動V 「わたしの好きなこと・もの」 《到達目標》 自分の好きなこと(趣味)・ものについて5文程度のスピーチ原稿を書いて発表できる
UNIT7 DL	*SOと同様に総合的な言語活動Vでの応用しやすいようにmusic, food, TV program, sport, comic,season等のトピックに発展可能なフォーマットを設定し、意識化させる。 ② 比較表現(more, the most)を使い自分の考えを述べる表現に慣れさせる ②interesting,, exciting, moving, cool, popular, important,等、気持ちや感想を表すことができる形容詞の語彙を拡大する	【動き】 質問する 答える 【使用場面】 友人との会話 【音読練習】 【自己表現&リハーサル】 ・ 【フォーマット20】 で自己表現スキット作成 ・ペアでリハーサル 【パフォーマンス】 ・ ペアで自己表現スキットの暗唱発表 (全員) 【Easy Writing】 (ア) (ウ) ・ フォーマットの自己表現スキットを清書して提出	《主な動き》 紹介する 説明する 理由を述べる 発表する 《主な言語材料》 ・ be goin to~, want to~のようなテーマを述べるための表現
UNIT7 RFC P78	* 映画のストーリーの要点を述べるといふ言語活動を重視する。フォーマットは使用せず、音読と暗唱練習を行う ⑥ 総合的な言語活動Vに役立つ good,better,bestの表現に慣れさせる	【動き】 要約する 【使用場面】 教師による映画のストーリー紹介 【音読練習】 【リハーサル】 ・個人での音読練習 【パフォーマンス】 ・個人での音読発表 (抽出) 【Easy Writing】 (ア) ・ better,bestを用いた文型練習 (シート) ・ better,bestを用いた簡単な自己表現作文 (シート)	・ favorite, like, love 等、自分の好きなものを述べるための表現 ・ so,because 等、理由を述べる場合に使用しそうな接続詞
UNIT7 RFC P79	*映画のストーリーの要点を述べるといふ言語活動を重視する。フォーマットは使用せず、音読と暗唱練習を行う ①as～asを用いた表現に慣れさせる	【動き】 要約する 【使用場面】 教師による映画のストーリー紹介 【音読練習】 【リハーサル】 ・個人での音読練習 【パフォーマンス】 ・個人での音読発表 (抽出) 【Easy Writing】 (ア) ・ P80Your Tumの要約文を完成する	・ I like～the best, the most interesting, moving,exciting, 等の自分の気持ちを表現することができる最上級(比較級も含む)の表現
LP7	* 中心技能である「聞くこと」の言語活動に重点をおく。 ①総合的な言語活動Vのリハーサルの言語活動に位置付け、発表原稿を書く活動を行う	【動き】 紹介する 【使用場面】 映画ヒットチャート 【音読練習】 スクリプトの音読練習 【リハーサル】 スクリプトの個人での音読練習 【パフォーマンス】 スクリプトの個人での音読発表 (抽出) 【Easy Writing】 ・ P81のOptionの発表原稿を書いてみる 「最近あなたが見た映画や読んだ本やマンガについて、英語で発表しましょう」	
かんじの練習	* 比較表現を使った文の意味と語順を定着させる	【Easy Writing】 ・ 形態の定着のための繰り返し練習を行う (シート) ・ 比較表現の働きを生かした、簡単な自己表現文 (3文程度) を書いてみる (シート)	

RFC P79

総合的な言語活動V 「わたしの好きなこと・もの」 *太枠の Formative Input & Easy Outputが総合的な言語活動と直接関連する

SP5	<p>*中心技能である「話すこと」の言語活動に重点をおく。</p> <p>① “Shall I ~?” (という申し出る表現に慣れさせる</p> <p>②買い物の場面で使用する表現になれさせる</p>	<p>【動き】申し出る 質問する 答える すすめる 【使用場面】 買い物</p> <p>[音読練習]</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット21】を用いて自己表現スキットを完成させる ・ペアでスキット発表のリハーサルを行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでスキットを発表する (全員) <p>[Easy Writing]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマット21のスキットを清書して提出 ・総合的な言語活動Vに向けて、“Shall I ~?”を用いた簡単な自己表現作文を書いてみる <p>EX) Shall I show you my favorite singer?/ Shall we listen to her song a little?等</p>	<p>総合的な言語活動V</p> <p>「わたしの好きなこと・もの」</p> <p>《到達目標》</p> <p>自分の好きなこと(趣味)・ものについてスピーチ原稿を書いて発表できる</p>
LC3	<p>* 可能であれば、Let's chat3(P93)を総合的な言語活動Vの前に扱い、Formative Input& Easy Outputを行う。</p> <p>①好きな歌手タレント、スポーツ選手についての表現に慣れさせる。</p> <p>②総合的な言語活動Vに向けて、賛成の仕方、反対の仕方の表現に慣れさせる</p>	<p>【動き】賛成する 反対する 【使用場面】友人との会話</p> <p>[自己表現&リハーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーマット22】を用いて自己表現スキットを完成させる ・ペアでスキット発表のリハーサルを行う <p>[パフォーマンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでスキットを発表する (全員) <p>[Easy Writing]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマット15のスキットを清書して提出 	<p>総合的な言語活動V</p> <p>「わたしの好きなこと・もの」</p> <p>《到達目標》</p> <p>自分の好きなこと(趣味)・ものについてスピーチ原稿を書いて発表できる</p>